

狭山が発祥の地

童句

背伸びして 父待つ 駅の 時雨かな

近江 章友

父の寝言 となりにきくや 年の暮れ

大沢 久美

小さい手が 背中トントン 菊日和

本告 愛子

熊手持つ 役でお供の 酉の市

田中 美代子

しかられた 事も話して

原 千寿

祖父米寿 三年日記 買ってくる

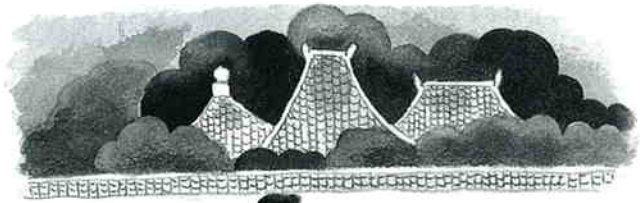
土家 由岐雄

※童句は、土家由岐雄氏(中央)が創始し全国に広がりました。大人が童心に返って子どもの生活や感情を詠う俳句のことです。子供にもよく分かり、大人も詩情を感じる格調高いものです。わが子や孫がどうしたという句は童句ではありませんのでお間違えのないようお願いいたします。

池原 昭治の

さやまの絵本

20



殿さま街道(笹井)

水富の笹井にあります観音堂は「狭山のわらべ唄」でも有名ですが、昔は梅の坊ともいって、本山は京都聖護院末二十八院の一つで所沢・三カ島・山口・宮寺など高麗郡一帯の年行事職を勤めたという格式のある古い御堂なのです。

ですから、この観音堂の前を通るものは馬にのっているものは馬から降り、カゴにのっているものはカゴから降り、それ相当のあいさつをしないと通れなかつたそうです。

となりの飯能の中山のお殿さま戦国時代より江戸時代にいたるまで数々の武勲を挙げたり水戸光圀公

黄門様ともゆかりがある名家です。でも観音堂の前を通るときは、あいさつの礼をつくさねばなりません。

あるとき、中山のお殿さまへ江戸より急な呼び出しがあり、いそぎ出かけることになりました。ところが観音堂の前でのあいさつが列をつくてなかなか通れません。そして江戸へ着くのがおそくなって大失敗をしてみました。

そこで、いろいろ知恵をだしあつた末、いつでもかんたんに通れるようにと、観音堂のうら手に六尺街道(一・八メートル)をつくりました。この道が今も呼ばれる「殿さま街道」なのです。

AET CORNER



Jennifer Geissman (AET)

My hometown is New Washington, Ohio, U.S.A. New Washinton is located about half way between Cleveland and Columbus. New Washington is a small village of about 1,100 people, and my parent's house is located in the countryside outside of New Washington. My home area's economy is mainly farming. My father farms together with his two brothers. They grow wheat, soybeans and corn on 17,500 square kilometers of land. My father and his two brothers own about two thirds of the land, and the other one third is rented. The land is divided into smaller sections, and these sections are located in six different places. Wheat, soybeans and corn are grown once each year. The wheat that my father grows is called Red Winter Wheat. It is planted in November and is harvested in June. This wheat is used to make pasta and bread. Soybeans and corn are both planted in May, and they are harvested in November. Soybeans are used for foods like soy sauce, natto, and tofu. The corn that my father grows is called Field Corn. Field Corn is used to make corn starch, ethanol and biodegradable products (environment safe products).

この広報紙は自然保護のため再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち

さやま

[狭山市広報]
VOL.497

◆発行日/平成8年12月10日(毎月10・25日発行)
◆編集・発行/狭山市役所企画財政部秘書広報課
〒350-13 埼玉県狭山市入間川11-23-5
TEL.0429-53-1111(内線386)
FAX.0429-55-9713